

会社案内

**DAIRI**

From forestry to framing

**DAIRI**

株式会社 ダイリFPC

FOREST PRODUCTS  
& CONSTRUCTION



株式会社ダイリFPCのFPC(Forest Products & Construction)という言葉には、  
林産資源全体をビジネスとして捉えたい、  
そして中核となる建築をより理解し関与していきたい、という思いが込められています。

木材は自然が炭素を固定しながら自ら生み出してくれる、たいへんありがたい資源です。  
実は先進国ほど木材の利用量が多く、なかでも建設用途での活用が中心となっています。  
一方で、エネルギー用途としての利用が多いのは発展途上国です。木材の使い方は、その国の成熟度を映す鏡でもあります。

**「本業を離れるな。本業を続けるな。本業の中身を変えていけ。」**

この言葉を私の父であり、当社の創業者である故・小濱重利は好み、社是としました。  
父は、祖父が営む製材工場からスピンアウトし、原木輸入業を立ち上げました。

「木材は小さくするな(損益が分かりにくくなる)、できれば原木の形で売れ」が持論でありながら、変化を認め、新しい挑戦を見守る  
—そういった二面性ともいえる精神を、私たちは大切に受け継いでいきたいと考えています。

代表取締役社長

小濱 孝彦

FROM FORESTRY  
TO FRAMING

# OUR BUSINESS

## 事業内容

### ツープайフォー事業 製材

製材部門では、再生可能な資源である木材を科学的アプローチで効率的に生産しています。原木をデータに基づいて製材し、適切な乾燥・加工を施すことで、寸法精度や強度の安定した、確かな品質の製品をお届けしています。さらに、製材の過程で生じる端材も、木材チップやおが粉として資源化し、製紙・エネルギー・農畜産など、さまざまな分野の需要先へ供給しています。

弊社の事務所・製材工場・倉庫は、すべて2x4工法によって建てられています。2x4工法高い施工効率を活かし、大規模な工場を短い工期で完成させました。木造でありながら大スパン構造を実現することで、広々とした空間に効率的な生産ラインを確保しています。



製材棟 (第1工場)



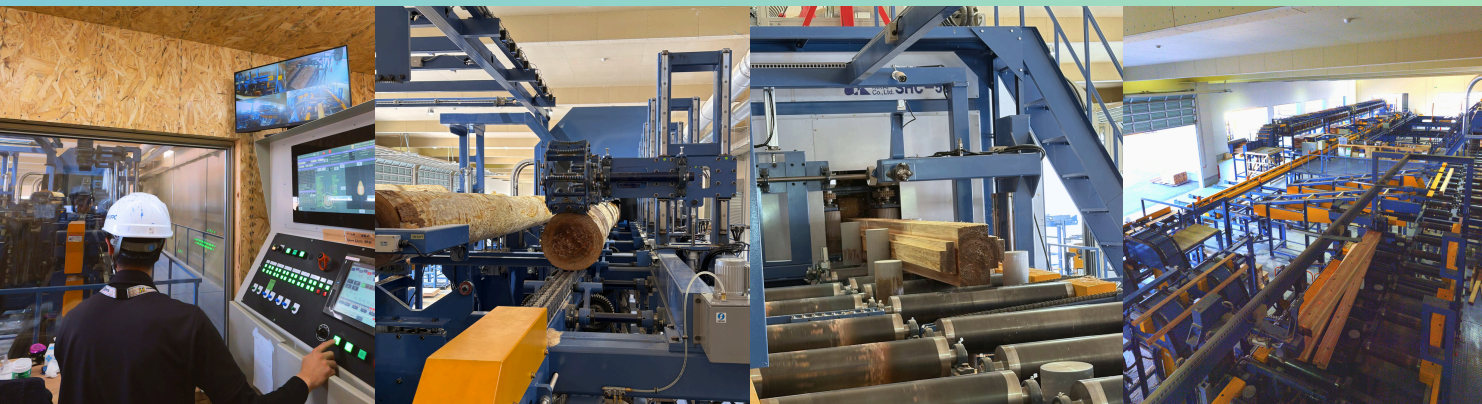
建設中



モルダー棟 (第2工場)



#### 製材



#### モルダー加工



#### 出荷



### ダイリFPCの製材工場の特徴

#### ① 四国の森林資源の活用

四国は民有林率が高く、早期から植林が進められてきた地域であり、豊富な森林資源に恵まれています。地域の杉は強度に定評があるうえ、十分に樹齢を重ねた木が多いため、2x10、2x12の幅広・長尺製品の生産に適しています。

製材棟では、主機にチップャーキャッターを採用し、生産品目をツープайフォー・ディメンションランバーに特化。製材精度とチップ生産の効率を両立させることで、一本の原木を無駄なく製品化する体制を整えています。地域の恵まれた資源を最大限に活かすことを目指しています。

#### ② データが裏付ける品質

モルダー棟では、含水率検査や選別といった機械測定を積極的に導入しています。人の感覚に頼らない客観的な基準で品質を見極めることで、安定した安心の品質をお届けしています。こうした品質管理体制は、第三者機関による認証によっても裏付けられています。製品の寸法・強度・品質を保証するJAS認証、そして持続可能な森林経営を証明するSGEC/PEFC森林認証を取得し、製品と原材料の両面で社会的責任を果たしています。

仕上げのラッピングの品質においても、品質維持に重要だと考えております。お客様の手に届いてからも変わらぬ品質をお届けできるよう、最後まで丁寧に仕上げています。

### 取扱商品 2x4から2x12、5000mmまで、幅広いラインアップをご用意しています。



2x4	2336	2536	2636	3660	4100	4880	5000
2x6	2336	2536	2636	3660	4100	4880	5000
2x8				3660	4100	4880	5000
2x10				3660	4100	4880	5000
2x12				3660	4100	4880	5000

### 認証・認定 JAS規格、森林認証 (SGEC/PEFC)、合法木材登録など、各種認証を取得しています。



JAS 甲種枠組材2級



SGEC/PEFC ジャパン



第一種・第二種登録木材関連事業者



合法木材供給事業者

ツープайフォーを中心とする北米の木造建築物には、明確な価値があります。住宅は確たる資産として再販価値・担保価値が認められ、戸建てだけでなく、アパート、分譲マンション、学校、オフィス、ホテル、クラブハウスといった多様な用途で広く採用されています。近年では、こうした建物が証券化の対象となるほど、その価値は社会に根づいています。「木材だけでなく、工法そのものを輸入すべきだ」——長年にわたり木材輸入に携わってきた当社が抱えてきたこの想いこそ、ツープайフォー事業の原点です。

## 1 設計・構造計画の提案

### PLANNING

案件ごとに最適な構造計画を提案することが、私たちの出発点です。概算見積りから始まり、お客様と進捗を共有しながら精度を段階的に高めていきます。建て方計画はもちろん、当社の管轄外となる工事についてもアドバイスを提供することで、施主様を含むすべての関係者の成功に貢献します。



## 2 パネル加工—最適化されたパネル供給体制

### PANELLING

パネル加工は、現場のロケーションに応じて、自社工場と協力工場のエリアを最適化しています。鍵となるのは構造計画・構造計算・CAD入力。工場間の連携に欠かせない共通CADと入力責任を当社が一貫して担うことで、地域を問わず、安定した価格と品質を実現しています。



## 3 躯体工事—早期完工につなげる現場運営

### FRAMING

ここでも原点となるのは構造計画です。正しく計画された物件は、最適な物量と建てやすさを考慮したCAD入力につながります。そのうえでデリバリー計画、大工の適正配置、レッカーの稼働日数までを綿密に読み込むことで、工期の早期完了を目指します。



## ENGINEERED WOODの活用

大スパンを合理的に実現するため、あるいは屋根の断熱を強化するため等、弊社では主に北米で開発されたEngineered Woodを積極的に構造提案しております。また常時その体制を維持できるように構造用面材OSBと合わせ、直接輸入により全国3か所にて常時在庫体制をとっています。

Engineered Woodの利用において、トラス化技術とし、木質トラス実用新案登録第3247373号を保持しており、同トラスの採用事例が急速に増加しています（現在の実績最大スパンは約30Mです。）



LVLトラス



TJI®ジョイスト

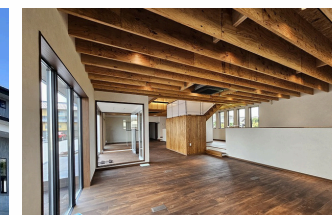
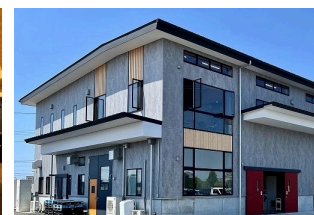
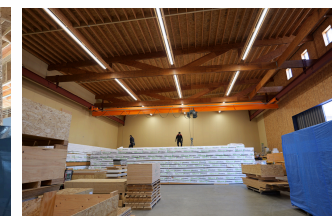


OSB



Parallam® PSL

施工実績 大型物件、倉庫、老健施設、畜舎、戸建て——ツープайフォー工法による私たちの施工実績は、年々その幅を広げています。



## 🌲 建材販売事業

いいものとは何か。その問いに、私たちは無垢材という素材で応えてきました。創業当初より、海外から原木・製材品を中心とした木材供給を担い、国内外の森林と向き合いながら、木材の選定・調達を行ってまいりました。長年培ってきた調達ネットワークを活かし、現在では、フローリング、羽目板などの内装用木製品、造作材、準不燃・不燃木材、高耐久化天然木材など、幅広い木質建材を取り扱っております。住まいづくりや空間設計に求められる「品質」「意匠性」「機能性」に応えるため、国内外の多様な木材をご提案し、木材の可能性を広げる空間づくりをサポートしております。木の温もりや豊かさを建築空間へ届け、木の価値を未来へつないでいけるよう取り組んでおります。



加えて、断熱工事の請負にも対応しており、複雑な工事案件においては、当社ツーバイフォー部門の知見と連携することで、お客様のご要望の実現に向けて柔軟に取り組める体制を整えています。

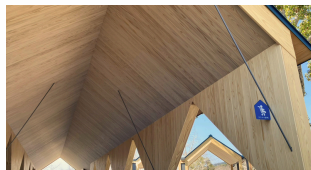


## 施工実績

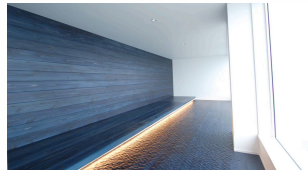


アコヤ材を利用した外装、デッキの施工例  
耐久性と美観を兼ね備えた木材で、屋外環境に適しています。

設計士と施主様のご要望に合わせ、広葉樹・針葉樹を適材適所に活かした商品を提案し、フローリングや羽目板パネリングに使用した事例です。



徳島県の伝統産業である藍染を施した木材で、唯一無二の美しい色合いを実現しました。



## セルロースファイバー断熱材吹込み工事

ダイリFPCでは、日本製紙木材の「スーパージェットファイバー」を使用して、環境負荷の少ない省CO2断熱材「セルロースファイバー断熱材吹込み工事」を、徳島を中心に責任施工でご提供しています。断熱性能、遮音性能、防火性能とバランスが取れた紙ベースの断熱材です。製造時・廃棄時のエネルギー使用も少なく、環境にやさしい「省CO2建材」として注目されています。

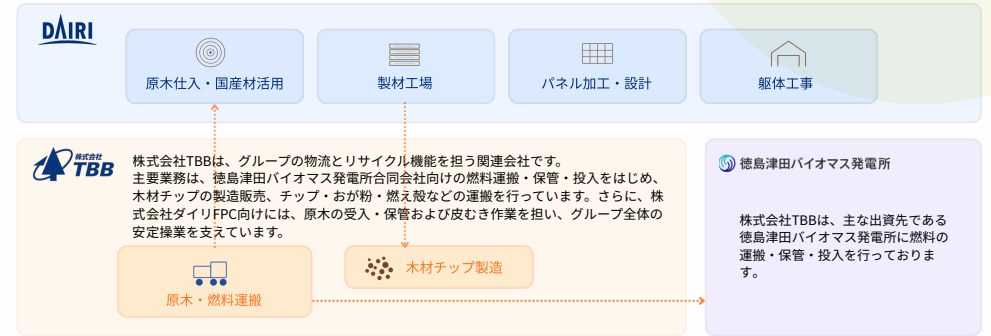


# OUR VISION

ダイリFPCの現在とこれから

## 木の価値を、社会の価値へ。

成熟した国産林の活用と、現代的価値を備えた大型木造の実現を通じて、林産資源の可能性を最大限に引き出します。森から建築まで、一貫した責任ある関わりで、社会の持続可能性に貢献します。



徳島津田バイオマス発電所



## 私たちが目指す姿

### 国産材の山林事業に乗り出します

すでに成熟期を迎えた国内の人工林の活用は、グローバルな資源価格の上昇やCO2削減目標と相まって、いまや国家的な課題といえます。しかしその実現には、いくつもの壁があります。林業就労者の減少、出材のための機械化、就労者の賃金水準の引き上げ、そして伐採後の再植林——どれも一朝一夕には解決できない、構造的な課題です。これらに正面から向き合うことが、当社の発展にも、社会全体にも資すると考えています。私たちは、山の生産性拡大を目指し、新たな一歩を踏み出します。

### 長期的に価値のある木造建築を目指します

当社が提案する木造建築は、伝統的・保存的な価値ではなく、確たる強度と合理性を基本としています。そこに設備や省エネといった現代的な課題への解決策を組み合わせることで、長期的に価値を持ち続ける建物を生み出します。

大型木造・施設建築の受注フローは、計画段階でのご相談から、構造図確定後の見積り依頼までさまざまです。ご相談元も建設請負会社、設計士、事業主と多岐にわたり、検討が複雑化した案件のご相談も多く寄せられます。あらゆる段階のご相談に的確にお応えできるよう、窓口業務の強化に取り組んでまいります。

# ABOUT US

## 会社概要

会社名	株式会社ダイリFPC
代表取締役社長	小濱 孝彦
設立	1959年8月1日
資本金	2,000万円
所在地	〒770-8001 徳島県徳島市津田海岸町3番77号
事業内容	ツーバイフォー製材・パネル加工・設計・躯体工事・建材販売
従業員数	42名
関連会社	株式会社TBB 一般貨物運送業 廃棄物運搬 主要業務として、津田バイオマス発電所合同会社向けの燃料運搬、保管、投入チップの製造販売、チップ、おが粉、燃え殻等の運搬 (株)ダイリFPC向けの原木の受入保管、皮むき作業等
主な出資先	津田バイオマス発電所合同会社

## 沿革

- 1959 創業者 小濱重利が徳島本町に本社を構え原木販売業を主業とする大利木材株式会社を設立
- 1968 徳島市論田町に約3,000坪の木材置き場を取得し木材製品販売を強化
- 1973 徳島県木材工業団地（津田地区）進出 本社移転
- 1978 東南アジアからの直接貿易取引開始
- 1984 北米原木の直接貿易開始
- 1989 ツーバイフォー事業部門の設置
- 1994 カナダからの原木輸入量が3年連続日本一となる
- 2007 (社)ツーバイフォー建築協会四国支部 支部長会社
- 2008 徳島県外材輸入協会理事長会社
- 2011 徳島県より森林CO2吸収量証明証を受理
- 2013 四国経済産業局長賞を受領(藍染フローリングの開発)
- 2017 地域未来牽引企業に選定
- 2018 沖縄に直接コンテナ輸入開始 施設物件・住宅などの木造化受注開始
- 2021 現在所在地に本社移転  
株式会社ダイリFPCに社名変更(FPC: Forest Products & Construction)
- 2023 木材団地内に木質チップ製造工場を新設
- 2024 新製材工場の製材棟、モルダー棟完成
- 2025 製材事業開始

## お問い合わせ

ご相談や資料請求につきましては、  
Webサイトまたはお電話にてお気軽にご連絡ください。

WEB : <https://www.dairinet.com>  
TEL : 088-663-2428 FAX : 088-663-4050

